

「川崎天然ガス発電所 3・4 号機増設計画 計画段階環境配慮書」 の送付について

JX日鉱日石エネルギー株式会社(社長:杉森 務、以下「JXエネルギー」)と東京ガス株式会社(社長:広瀬 道明、以下「東京ガス」)が出資する川崎天然ガス発電株式会社(社長:新井 修嗣、以下「川崎天然ガス発電」)は、川崎天然ガス発電所(神奈川県川崎市)の増設について、環境影響評価法に基づき、本日、「川崎天然ガス発電所3・4号機増設計画 計画段階環境配慮書^{※1}」(以下、「配慮書」)を経済産業大臣、神奈川県知事、川崎市長、横浜市長、東京都知事、大田区長および品川区長へ送付しました。これに伴い、3社は川崎天然ガス発電所の増設について、本格的な検討を開始します。

川崎天然ガス発電所は、環境にやさしいクリーンエネルギーである天然ガスを利用し、省エネルギー性に優れたガスタービンコンバインドサイクル発電方式で電力を供給する天然ガス火力発電所です。2008年4月に1号機、同年10月に2号機の運転を開始し、現在、約84万7千kWの発電出力を有しています。

JXエネルギーは、「総合エネルギー企業」としての経営基盤強化に向けて、電力販売先の開拓や新規電源開発の推進など、電力事業の拡大に取り組んでおります。

東京ガスは、「チャレンジ 2020 ビジョン」で「競争力ある電源の拡充」を掲げており、本件はその実現に向けた取り組みの一環となります。

JXエネルギーと東京ガスは、今後も川崎天然ガス発電所を活用し、環境にやさしく、安定的で効率的な電力供給の実現に貢献してまいります。

※1 配慮書および要約書は、関係する自治体および川崎天然ガス発電のホームページにて6月11日から7月10日までご覧頂けます。詳しくは、川崎天然ガス発電のホームページをご参照ください。

川崎天然ガス発電ホームページ :<http://www.kngg.co.jp>

配慮書の縦覧について(6月11日～) :<http://www.kngg.co.jp/environment/index.html>

1. 川崎天然ガス発電株式会社の概要

代 表 者: 新井 修嗣

資 本 金: 37.5 億円(2015年4月1日現在)

設立年月日: 2001年11月30日

資 本 構 成: JX日鉱日石エネルギー51%、東京ガス49%

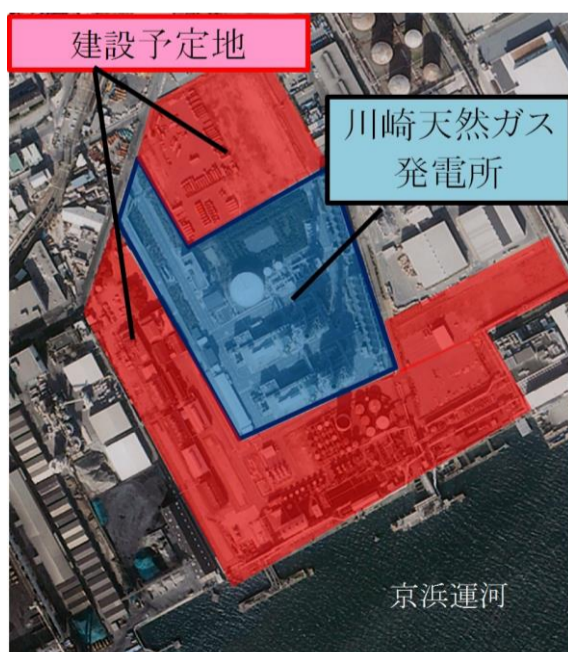
所 在 地: 神奈川県川崎市川崎区扇町12-1

発電所能力: 1、2号機各423,700kW 発電効率57.6%(低位発熱量ベース)



2. 発電所の増設計画概要

建設予定地: 現川崎天然ガス発電所の隣地



発 電 方 式: ガスタービンコンバインドサイクル発電

発 電 出 力: 約55万kW×2基

燃 料: 天然ガス

運転開始時期: 2021年に順次運転を開始する予定

以 上

<本件に関する報道機関からのお問合せ先>

JX日鉱日石エネルギー株式会社 広報部 広報グループ 電話 03-6275-5046

東京ガス株式会社 広報部 氏家 電話 03-5400-7675